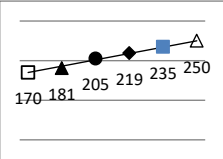
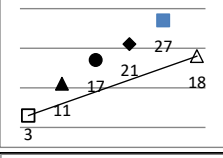
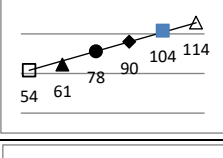
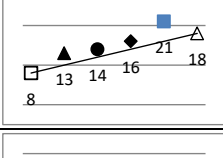
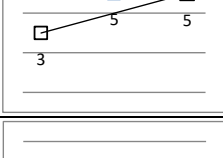
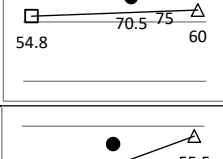
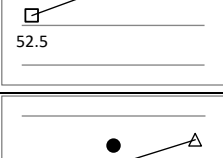
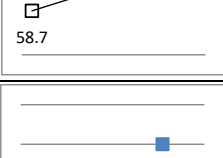
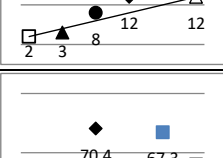
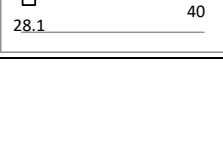


鯖江市総合戦略 KPI(主な重要業績評価指標)一覧

※【現状値】の色は達成度を示す
■: 目標値に向かって改善している(47) ■: 改善しているが目標値に向かうスピードが遅い(12) ■: 後退している(15)

基本目標	基本施策	NO	担当課	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	戦略策定時 □	H27年度末 ▲	H28年度末 ●	H29年度末 ◆	H30年度末 ■ ■ ■	目標値 △	グラフ	現状値の把握方法
魅力ある雇用の創出		1	商工政策課	成長分野における従業者数	人	170 (H26年度)	181 (H27年度)	205 (H28年度)	219 (H29年度)	235 (H30年度)	250 (H31年度)		聞き取り調査
	眼鏡のチタン加工技術を活かした新産業の創造	2	商工政策課	成長分野の技術開発、海外販路開拓件数	件 (累計)	3 (H26年度)	11 (H27年度)	17 (H28年度)	21 (H29年度)	27 (H30年度)	18 (H31年度)		市への申請で把握が可能
	既存産業の高度化	3	商工政策課	販路開拓、企業マッチング等事業採択数	件 (累計)	54 (H26年度までの5ヵ年)	61 (H27年度までの6ヵ年)	78 (H28年度までの7ヵ年)	90 (H29年度までの8ヵ年)	104 (H30年度までの9ヵ年)	114 (H31年度)		市への申請で把握が可能
	若者に魅力ある働く場の確保	4	商工政策課	企業立地交付決定件数	件 (累計)	8 (H26年度までの5ヵ年)	13 (H27年度までの6ヵ年)	14 (H28年度までの7ヵ年)	16 (H29年度までの8ヵ年)	21 (H30年度までの9ヵ年)	18 (H31年度)		市への申請で把握が可能
		5	商工政策課	サテライトオフィス誘致件数	件 (累計)	—	—	—	3 (H29年度)	5 (H30年度)	5 (H31年度)		各年度の実績数
		6	商工政策課	若者が働きやすい環境が充実していると感じる人の割合	%	54.8 (H24年度)	H29年度にめがねのまちさばえ戦略室が中間アンケート予定	70.5 (H28年度)	H31年度にめがねのまちさばえ戦略室がアンケート予定	75.0 (H30年度)	60 (H31年度)		アンケート調査 市民の16歳以上の男女から年齢階層ごとに、男女別に無作為に1,000人を抽出。うち30代以下の者の「普通」以上の回答割合。
	女性が輝くまちの創造	7	商工政策課	女性就業率	%	52.5 (H22年度)	—	55.1 (H27年度)	—	—	55.5% (H32年度)		国勢調査で把握(H32年の結果はH34.4の見込み)
		8	商工政策課	共働き世帯率	%	58.7 (H22年度)	—	62.5 (H27年度)	—	—	63% (H32年度)		国勢調査で把握(H32年の結果はH34.4の見込み)
		9	商工政策課	女性起業家数	人 (累計)	2 (H26年度)	3 (H27年度)	8 (H28年度)	12 (H29年度)	20 (H30年度)	12 (H31年度)		鯖江市創業支援事業として関係機関から報告を受ける創業者数
		10	めがねのまちさばえ戦略課	職場において男女の扱いが平等であると感じている人の割合	%	28.1 (H26年度)	H29年度にめがねのまちさばえ戦略室が中間アンケート、H31年度に市民まちづくり課がアンケートを予定	<参考値> 70.4 (H28年度)	H31年度に男女共同参画市民意識調査アンケートを実施。	<参考値> 67.3 (H30年度)	40 (H31年度)		・<参考値>は市民アンケート結果(めがねのまちさばえ戦略課) 市民の16歳以上の男女から年齢階層ごとに、男女別に無作為に1,000人を抽出(「普通」以上の回答割合) ・目標値は男女共同参画市民意識調査 市民の18歳以上の男女から年齢階層ごとに、男女別に無作為に2,000人を抽出(「平等である」の回答割合)

基本目標	基本施策	NO	担当課	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	戦略策定時 □	H27年度末 ▲	H28年度末 ●	H29年度末 ◆	H30年度末 ■	目標値 △	グラフ	現状値の把握方法
魅力ある雇用の創出	もうかる農業経営の確立	11	農林政策課	新規就農者数	人 (累計)	9 (H26年度までの5ヵ年)	11 (H27年度までの6ヵ年)	12 (H28年度までの7ヵ年)	13 (H29年度までの8ヵ年)	15 (H30年度までの8ヵ年)	21 (H31年度)		新規就農者と認定した者の実数
		12	土木課	農地維持活動実施面積	%	83.8 (H26年度)	84.4 (H27年度)	88.6 (H28年度)	89.2 (H29年度)	89.0 (H30年度)	88.0 (H31年度)		活動申請面積/農用地面積 活動組織申請による実施面積と市内農用地面積の割合算出。
		13	農林政策課	持続性のある農業が確立されていると感じている人の割合	%	76.9 (H24年度)	H29年度にめがねのまちさばえ戦略室が中間アンケート予定	77.0 (H28年度)	H31年度にめがねのまちさばえ戦略室がアンケート予定	78.6 (H30年度)	80 (H31年度)		アンケート調査 市民の16歳以上の男女から年齢階層ごとに、男女別に無作為に1,000人を抽出(「普通」以上の回答割合)
若者が住みたくなるまちの創造		14	めがねのまちさばえ戦略課	若者の社会減の抑制	人	—	-34 (H27年度)	13 (H28年度)	-35 (H29年度)	-52 (H30年度)	30 (H31年度)		総務省「住民基本台帳人口移動報告」で把握。15～29歳の社会増減推計値は△13人。
		15	めがねのまちさばえ戦略課	若者が活躍でき、定住しやすいと感じている人の割合	%	63.7 (H24年度)	H29年度にめがねのまちさばえ戦略室が中間アンケート予定	72.8 (H28年度)	H31年度にめがねのまちさばえ戦略室がアンケート予定	69.1 (H30年度)	70 (H31年度)		アンケート調査 市民の16歳以上の男女から年齢階層ごとに、男女別に無作為に1,000人を抽出(「普通」以上の回答割合)
	若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多様性があるまち～	16	にぎわい推進室	学生連携によるまちづくり提案数	件	12 (H26年度)	13 (H27年度)	16 (H28年度)	19 (H29年度)	14 (H30年度)	12 (H31年度)		毎年、地域活性化プランコンテスト、明治大学鯖江ブランド創造プロジェクト、金沢大学まちづくりインターンシップを開催しており、随時、提案数を把握する。
		17	財務政策課	クラウドファンディングを活用した若者活動支援数	件 (累計)	1 (H26年度)	5 (H27年度)	9 (H28年度)	12 (H29年度)	12 (H30年度)	15 (H31年度)		Webページ上にて、随時提案数を把握する。
		18	めがねのまちさばえ戦略課	移住相談件数	件	—	—	—	43 (H29年度)	71 (H30年度)	50 (H31年度)		県に報告している各年度の実績数(市役所、移住フェア等イベント時に相談に来た人数)
		19	めがねのまちさばえ戦略課	市ホームページ定住・交流情報サイトアクセス数	件	—	—	—	360 (H29年度)	630 (H30年度)	400 (H31年度)		各年度の実績数
	オープンデータとITで都会的サービスが享受できるまち	20	情報統計政策課	公共サービスアプリ利用者数	人	600 (H26年度)	738 (H27年度)	1,127 (H28年度)	1996 (H29年度)	2,390 (H30年度)	1,800 (H31年度)		市民協働アプリ「さばれぼ」のアプリダウンロード数などで利用者数を把握する。
		21	情報統計政策課	タブレットアプリ年間講座受講者数	人	400 (H26年度)	304 (H27年度)	329 (H28年度)	262 (H29年度)	273 (H30年度)	500 (H31年度)		「ITに親しむ講座」、「高年大学講座」等の実参加者数

基本目標	基本施策	NO	担当課	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	戦略策定時 □	H27年度末 ▲	H28年度末 ●	H29年度末 ◆	H30年度末 ■ □	目標値 △	グラフ	現状値の把握方法
若者が住みたくなるまちの創造	河和田キャンパス(創造産地)の構築	22	めがねのまちさばえ戦略課	(河和田地区への)新規若者移住・就業者数	人 (累計)	25 (H21～26年度)	34 (H21～27年度)	39 (H21～28年度)	44 (H21～29年度)	46 (H21～30年度)	45 (H21～H31年度)		随時聞き取り調査
		23	商工政策課	河和田地区での新規起業数	件 (累計)	3 (H25～26年度)	7 (H25～27年度)	8 (H25～28年度)	8 (H25～29年度)	10 (H25～30年度)	13 (H25～H31年度)		随時聞き取り調査(うるしの里かわだ元気再生プロジェクト実施以降)
	ものづくり教育とふるさと学習の推進	24	学校教育課	将来、市内の地場産業に関する事業所で働きたい生徒(中学1年生)の割合	%	4.5 (H24年度)	6 (H27年度)	6.8 (H28年度)	7.1 (H29年度)	4.2 (H30年度)	10.0 (H31年度)		アンケート調査 市内3中学校の1学年を対象とした「中学校産業教育支援事業」受講生徒にアンケート調査する
		25	学校教育課	将来、市内の企業で働きたい生徒(中学1年生)の割合	人	—	—	—	17.2 (H29年度)	13.1 (H30年度)	20 (H31年度)		アンケート調査 市内3中学校の1学年を対象とした、もの博でのアンケート調査による
		26	文化課	ふるさとさばえキッズ検定の参加者数	人	31 (H27年度)	31 (H27年度)	211 (H28年度)	220 (H29年度)	268 (H30年度)	100 (H31年度)		受験者数で把握
	参加と協働による市民主役	27	市民まちづくり課	まちづくりの提案をする団体数	団体	33 (H26年度)	40 (H27年度)	41 (H28年度)	56 (H29年度)	51 (H30年度)	43 (H31年度)		市民主役事業の提案団体数およびまちづくり基金の提案団体数を集計(※市民提案事業が新たに企画された場合はその提案数も含める)
		28	市民まちづくり課	参加と協働によるまちづくりが推進されていると感じている人の割合	%	86.2 (H24年度)	H29年度にめがねのまちさばえ戦略室が中間アンケート予定	82.5 (H28年度)	H31年度にめがねのまちさばえ戦略室がアンケート予定	81.0 (H30年度)	88 (H31年度)		アンケート調査 市民の16歳以上の男女から年齢階層ごとに、男女別に無作為に1,000人を抽出(「普通」以上の回答割合)
		29	にぎわい推進室	鯖江市役所JK課参加者数	人 (累計)	—	—	—	68 (H29年度)	79 (H30年度)	78 (H31年度)		各年度の実績数
	地域資源を活かす観光の推進	30	にぎわい推進室	年間観光客入込数	万人	166 (H26年度)	182 (H27年度)	182 (H28年度)	176 (H29年度)	188 (H30年度)	170 (H31年度)		観光客入込数(4月～3月)
		31	にぎわい推進室	産業観光施設年間来館者数(めがねミュージアム、うるしの里会館、石田繻手織りセンター)	万人	16 (15.7) (H26年度)	16 (15.7) (H27年度)	16 (16.3) (H28年度)	21 (21.6) (H29年度)	29 (29.3) (H30年度)	17 (H31年度)		観光客入込数(4月～3月)
		32	にぎわい推進室	地域資源を活かす観光が推進されていると感じている人の割合	%	68.1 (H24年度)	H29年度にめがねのまちさばえ戦略室が中間アンケート予定	71.5 (H28年度)	H31年度にめがねのまちさばえ戦略室がアンケート予定	82.6 (H30年度)	70 (H31年度)		アンケート調査 市民の16歳以上の男女から年齢階層ごとに、男女別に無作為に1,000人を抽出(「普通」以上の回答割合)

基本目標	基本施策	NO	担当課	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	戦略策定時 □	H27年度末 ▲	H28年度末 ●	H29年度末 ◆	H30年度末 ■	目標値 △	グラフ	現状値の把握方法
若くて元気なまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	33	めがねのまちさばえ戦略課	出生数	人	590 (H26年)	598 (H27年)	582.5 (H27～28年の平均値)	574.7 (H27～29年の平均値)	582 (H27～30年の平均値)	610 (H27～31年の平均値)		総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(毎年7月1日頃発表)
		34	子育て支援課	生涯未婚率の増減	% (対5年前比)	—	+4.2 (H27年)	—	—	—	+3.0 (H32年度)		国勢調査で把握(H32年の結果はH34.4の見込み)。 「45～49歳」と「50～54歳」未婚率の平均値(結婚したことのない人の割合)。
		35	子育て支援課	子育て支援に満足している人の割合	%	74 (H26年度)	H29年度にめがねのまちさばえ戦略室、H31年度に子育て支援課がアンケートを予定	<参考値> 67.2 (H28年度)	H31年度に子育て支援課がアンケートを予定	72.7 (H30年度)	80 (H31年度)		・中間アンケート調査(めがねのまちさばえ戦略室) 市民の16歳以上の男女から年齢階層ごとに、男女別は無作為に1,000人を抽出。うち小学3年生以下の子どもがいる者の「普通」以上の回答割合。 ・アンケート調査(子育て支援課実施) 0～5歳の子どもがいる保護者1,300人と小学1年生～3年生の子どもがいる保護者600人(「普通」以上の回答割合)
		36	保育・幼児教育室	待機児童数	人	—	—	—	14 (H29年度)	0 (H30年度)	0 (H31年度)		各年度の実績数
		37	子育て支援課	放課後児童クラブ数(公立)	箇所 (累計)	18 (H26年度)	21 (H27年度)	21 (H28年度)	21 (H29年度)	21 (H30年度)	22 (H31年度)		各年度の実績数
		38	子育て支援課	子育てサポーター登録者数	人 (累計)	82 (H26年度)	82 (H27年度)	82 (H28年度)	91 (H29年度)	114 (H30年度)	130 (H31年度)		各年度の実績数
		39	子育て支援課	子育てサポーターの活動率	%	—	—	—	90.6 (H29年度)	89.5 (H30年度)	92 (H31年度)		各年度の実績数
	学力・体力日本一のまち	40	学校教育課	学校が楽しいと思う児童・生徒の割合	%	小学校 89.7 (H26年度)	小学校 90.8 (H27年度)	小学校 88.3 (H28年度)	小学校 89.6 (H29年度)	小学校 93.5 (H30年度)	小学校 91 (H31年度)		全国学力・学習状況調査(小学校6年生、中学校3年生対象)
		41				中学校 84.6 (H26年度)	中学校 86.7 (H27年度)	中学校 85.5 (H28年度)	中学校 85.2 (H29年度)	中学校 94.0 (H30年度)	中学校 87 (H31年度)		全国学力・学習状況調査(小学校6年生、中学校3年生対象)

基本目標	基本施策	NO	担当課	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	戦略策定時 □	H27年度末 ▲	H28年度末 ●	H29年度末 ◆	H30年度末 ■ ■ ■	目標値 △	グラフ	現状値の把握方法
若くて元気なまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	42	長寿福祉課	元気生活率 (全高齢者に占める介護認定を受けていない人の割合)	%	83.1 (H27年度)	83.5 (H28年度)	83.3 (H29年度)	83.9 (H30年度)	83.6 (H31年度)	83 (H31年度)		65歳以上の第1号被保険者全体に占める要介護認定を受けていない高齢者の割合。 (元気生活率＝1－要介護認定率)
		43	社会福祉課	地域見守り体制の整備率	%	38 (H26年度)	56 (H27年度)	62 (H28年度)	72 (H29年度)	86 (H30年度)	100 (H31年度)		アンケート調査 155町内の全区長に取組み状況のアンケートを実施。 (アンケート回収率 2015年 90.9%、2014年 89.7%)
		44	生涯学習・スポーツ課	高年大学活動参加者数	万人	2.7 (H26年度)	2.8 (H27年度)	3.5 (H28年度)	3.6 (H29年度)	3.7 (H30年度)	3 (H31年度)		高年大学での活動者数の把握
		45	生涯学習・スポーツ課	公民館の年間利用者数	万人	46.1 (H26年度)	43.6 (H27年度)	44.2 (H28年度)	42.6 (H29年度)	39.3 (H30年度)	50 (H31年度)		各地区公民館による利用者数の統計

基本目標	基本施策	NO	担当課	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	戦略策定時 □	H27年度末 ▲	H28年度末 ●	H29年度末 ◆	H30年度末 ■	目標値 △	グラフ	現状値の把握方法
安心して快適に暮らせるまちの創造		46	めがねのまちさばえ戦略課	快適に暮らせると感じる人の割合	%	80.7 (H24年度)	H29年度にめがねのまちさばえ戦略室が中間アンケート予定	83.8 (H28年度)	H31年度にめがねのまちさばえ戦略室がアンケート予定	83.2 (H30年度)	83 (H31年度)		アンケート調査 市民の16歳以上の男女から年齢階層ごとに、男女別に無作為に1,000人を抽出(質問(13)、(15)～(19)、(21)、(22)、(28)～(34)※)について「普通」以上の回答割合) ※基本目標③「安全・安心で快適に暮らせるまちづくり」と基本目標⑤「都市機能の充実したまちづくり」の18基本施策から、他のKPIで用いている「公共交通機関の充実」、「参加と協働によるまちづくりの推進」および総合戦略とのつながりのない「消防力を強化する」を除いた15基本施策の満足度についての質問。
	コンパクトシティの推進	47	都市計画課	中心市街地周辺の人口	人	2,044 (H26年度)	2,017 (H27年度)	1,972 (H28年度)	1,931 (H29年度)	1928 (H30年度)	2,000以上 (H31年度)		住基人口(本町1～3丁目、旭町1～3丁目、桜町1・3丁目、深江町、日の出町、屋形町)で把握
		48	都市計画課	道の駅「西山公園」の年間来場者数	万人	52.8 (H26年度)	44.5 (H27年度)	41.9 (H28年度)	38.4 (H29年度)	38.0 (H30年度)	60 (H31年度)		正面およびトイレ横入口に設置しているカウンターにて計測
		49	都市計画課	西山動物園年間来園者数	万人	17.9 (H26年度)	19.8 (H27年度)	22.4 (H28年度)	19.0 (H29年度)	19.8 (H30年度)	20 (H31年度)		動物園入口付近に設置しているカウンターにて計測
	どこにでも歩いて行ける交通網の整備	50	総合交通課	つつじバス年間利用者数	万人	18.8 (H26年度)	18.7 (H27年度)	18.3 (H28年度)	13.7 (H29年度)	14.4 (H30年度)	20 (H31年度)		各年度の実績数
		51	総合交通課	福武線市内駅年間利用者数	万人	48.2 (H26年度)	50.3 (H27年度)	50.3 (H28年度)	47.6 (H29年度)	47.4 (H30年度)	52 (H31年度)		各年度の実績数(福井鉄道確認)
		52	総合交通課	公共交通機関が充実していると感じている人の割合	%	78.1 (H24年度)	H29年度にめがねのまちさばえ戦略室が中間アンケート予定	73.4 (H28年度)	H31年度にめがねのまちさばえ戦略室がアンケート予定	58.7 (H30年度)	80 (H31年度)		アンケート調査 市民の16歳以上の男女から年齢階層ごとに、男女別に無作為に1,000人を抽出(「普通」以上の回答割合)
	みんなでつくろう安全・安心なまちどこにでも歩いて行ける交通網の整備	53	防災危機管理課	自主防災活動実施率	%	71.5 (H26年度)	85.4 (H27年度)	84.2 (H28年度)	70.6 (H29年度)	72.5 (H30年度)	80 (H31年度)		毎年度、各自主防災組織が行う訓練活動等を集計。
		54	防災危機管理課	防災リーダー養成者数	人 (累計)	234 (H26年度までの5カ年)	270 (H27年度までの6カ年)	309 (H28年度までの7カ年)	345 (H29年度までの8カ年)	379 (H30年度までの9カ年)	400 (H31年度)		毎年度行う、防災リーダー養成講座受講数による。

基本目標	基本施策	NO	担当課	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	戦略策定時 □	H27年度末 ▲	H28年度末 ●	H29年度末 ◆	H30年度末 ■ ■ ■	目標値 △	グラフ	現状値の把握方法
安心して快適に暮らせるまちの創造	みんなでつくろう安全・安心なまちどこにでも歩いて行ける交通網の整備	55	防災危機管理課	一斉配信メール登録者数	人	1,770 (H26年度)	3,019 (H27年度)	4,020 (H28年度)	4,628 (H29年度)	5,450 (H30年度)	3,500 (H31年度)		一斉配信メール自動登録(一般開放はH26.1～)システムによる。
		56	土木課	河川施設の整備率	%	59.5 (H26年度)	59.5 (H27年度)	59.6 (H28年度)	59.7 (H29年度)	60.9 (H30年度)	62.1 (H31年度)		河川施設の整備率＝ 河川施設の整備延長／河川全体延長
		57	上下水道課	雨水幹線等の整備率	%	44.6 (H26年度)	44.8 (H27年度)	45.0 (H28年度)	45.2 (H29年度)	45.4 (H30年度)	45.6 (H31年度)		雨水幹線等の整備率＝ 雨水幹線等の整備延長／雨水幹線等の認可延長
		58	上下水道課	上水道耐震管路の整備率	%	55.0 (H26年度)	57.2 (H27年度)	58.8 (H28年度)	60.4 (H29年度)	61.7 (H30年度)	61.9 (H31年度)		重要管路のうち、当該年度までの耐震管路累積整備延長割合
		59	土木課	橋梁長寿命化に伴う修繕箇所数	箇所	2 (H26年度)	2 (H27年度)	2 (H28年度)	2 (H29年度)	2 (H30年度)	2 (H31年度)		橋梁長寿命化計画に基づき、市が修繕を実施する
		60	建築営繕課	民間住宅の耐震改修件数	箇所	3 (H26年度)	1 (H27年度)	4 (H28年度)	0 (H29年度)	3 (H30年度)	3 (H31年度)		市の耐震改修補助制度活用による実施件数(補助金申請実績件数)
	市民と共に“まち美化”の推進～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	61	環境政策課	ごみの1人1日当たりの排出量	g	955 (H26年度)	955 (H27年度)	890 (H28年度)	907 (H29年度)	920 (H30年度)	870 (H31年度)		家庭系および事業系のごみを収集・搬入する市指定の処理施設での実績に基づき算出する。
		62	環境政策課	資源化率	%	14.9 (H26年度)	14.4 (H27年度)	14.5 (H28年度)	11.2 (H29年度)	12.3 (H30年度)	17 (H31年度)		家庭系および事業系の資源物を収集・搬入する市指定の処理施設での実績に基づき算出する。

基本目標	基本施策	NO	担当課	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	戦略策定時 □	H27年度末 ▲	H28年度末 ●	H29年度末 ◆	H30年度末 ■●■	目標値 △	グラフ	現状値の把握方法
安心して快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	63	環境政策課	まち美化活動取組み団体数	件	— (H26年度)	6 (H27年度)	6 (H28年度)	4 (H29年度)	6 (H30年度)	5 (H31年度)		ふる里さばえ 美化ピカ活動支援事業 (H26.12～)実績の件数により把握する。
		64	環境政策課	外来植物防除活動取組み箇所	箇所	— (H26年度)	9 (H27年度)	5 (H28年度)	5 (H29年度)	3 (H30年度)	3 (H31年度)		外来植物防除活動支援事業(H27～)実績の件数により把握する。
		65	土木課	道路・河川里親の登録数	団体	36 (H26年度)	37 (H27年度)	41 (H28年度)	41 (H29年度)	41 (H30年度)	41 (H31年度)		各年度の実績数
		66	都市計画課	公園里親の登録数	団体	78 (H26年度)	79 (H27年度)	83 (H28年度)	90 (H29年度)	92 (H30年度)	88 (H31年度)		各年度の実績数
		67	都市計画課	良好な景観の選定	箇所 (累計)	70 (H26年度)	75 (H27年度)	100 (H28年度)	100 (H29年度)	100 (H30年度)	100 (H31年度)		景観審議会にて選定

	基本施策	NO	担当課	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	戦略策定時 □	H27年度末 ▲	H28年度末 ●	H29年度末 ◆	H30年度末 ■	目標値 △	グラフ	現状値の把握方法
世界にはばたく地域ブランド「めがねのまちさばえ」の確立に向けた組織強化	職員の資質向上	68	総務課	能力態度評価評点数(人事評価制度)	点	—	29／40 (H27年度)	29.4／40 (H28年度)	29.3／40 (H29年度)	30.0／40 (H30年度)	35／40 (H31年度)		各年度の実績値
	健全で効率的な行政運営	69	総務課	職員数	人	—	397 (H27年度)	399 (H28年度)	398 (H29年度)	393 (H30年度)	400以下 (H31年度)		各年度の実績値
		70	財務政策課	財政調整基金の年度末残高	百万円	—	2,746 (H27年度)	3,004 (H28年度)	3,017 (H29年度)	3,175 (H30年度)	2,500 (H31年度)		各年度の実績値
		71	財務政策課	実質公債費比率	%	—	10.6 (H27年度)	10.1 (H28年度)	9.0 (H29年度)	8.1 (H30年度)	10.5 (H31年度)		各年度の実績値
		72	財務政策課	将来負担比率	%	—	7.2 (H27年度)	将来負担なし (H28年度)	将来負担なし (H29年度)	将来負担なし (H30年度)	7.0 (H31年度)		各年度の実績値
		73	財務政策課	実質赤字比率	—	—	黒字 (H27年度)	黒字 (H28年度)	黒字 (H29年度)	黒字 (H30年度)	黒字 (H31年度)		各年度の実績値
		74	財務政策課	連結実質赤字比率	—	—	黒字 (H27年度)	黒字 (H28年度)	黒字 (H29年度)	黒字 (H30年度)	黒字 (H31年度)		各年度の実績値
		75	財務政策課	市債残高(臨時財政対策債を除く)	百万円	—	15,655 (H27年度)	15,123 (H28年度)	14,455 (H29年度)	14,210 (H30年度)	15,000 (H31年度)		各年度の実績値
		76	収納課	市税の徴収率(現年度課税分)	%	—	98.3 (H27年度)	98.5 (H28年度)	98.6 (H29年度)	98.8 (H30年度)	98.3 (H31年度)		各年度の実績値
	国際協力・地域連携の推進	77	市民まちづくり課	国際交流員および通訳者等派遣人数	人	—	19 (H27年度)	19 (H28年度)	14 (H29年度)	8 (H30年度)	22 (H31年度)		各年度の実績値